

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立且格小学校

校長名 野村 真智子

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 「ぎふMIRAI's」を視点に、岐阜市の人・もの・ことに主体的・直接的に関わるよう、意図的・計画的に実践を行う。特に、生命の尊厳の理解を深める教育に重点を置く。 ICTを活用した主体的・対話的・深い学びの充実。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生命の尊厳や心の育成において概ね94%と高い評価を得た。本年度は、岐阜保健大学から講師を招聘し、生命の安全教育を行ったり、教科の授業を通して妊婦体験なども実施したりするなどリアルな学びが要因と考えられる。 本年度も、郷土が誇る偉人「原三溪」の生涯についての学びを通して、郷土愛を育てることにつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日置江にある神社のことを学ぶなど、低学年の頃より、地域のことを継続的に学ぶことができる。 「原三溪」の生涯についての学びから、且格小学校に誇りをもつことができている。 公開授業の参観では、タブレット端末を個人としての学びだけでなく、ツールとして活用し、仲間と話し合いながら深まる学びができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き「ぎふMIRAI's」を視点に、岐阜市や地域の人・もの・ことに触れ、豊かな生き方を見いだすことのできる教育活動に取り組んでいく。特に本校とつながりのある「原三溪」の生き方を継続的に学び、奉仕や慈しむ心の育成を図りたい。 生命の安全教育を各学年で行えるようにする。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの運営を通して新たな地域人材を集め、家庭・地域社会がもつ教育力を活用した学校づくりを推進する。 幼保小連携や小中一貫を行い、小学校に求められている、基本的な生活習慣の定着や家庭学習の仕方の定着等を行っていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎週水曜日、スクールボランティアが来校され、児童のプチ自慢を見たり、児童と遊び児童に温かい言葉かけをしたりして、自己肯定感の向上につながっている。 幼保小の連携として、1年生が新入学児童を学校へ招き、遊びを通して交流を深めることができた。更に、新1年が5年生とも遊び、交流を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> プチ自慢発表会で、発表する人、見学する人、応援する人、それを即座にほめる先生と認める温かい環境が素晴らしい。 幼保小の関わりは、1年生と幼保、5年生と幼保などのようにできているので、中学生との関わりを灯籠まつりの時以外にももてるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「スクールボランティア」等、地域人材の発掘に努め、地域がもつ教育力を活用した学校づくりを推進する。 幼保小連携の強化を図るために、小中共通で重点にしている「挨拶活動」を、継続的に進めていく。また、幼保小の児童の交流や教職員間の連携を図り、安心した小学校生活を送れるようにしていく。
あたたかさ働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 職員間コミュニケーションの活性化を図り、「働きがい」のある職場環境づくりをする。 ICT機器の効果的な活用により、教育DXを推進し、報告・連絡・相談をより円滑に行い、子どもと向き合う時間の確保に努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学び方を含め、様々な教育活動の転換において、実態と実情に合わせた教員研修を企画し、楽しく学び合うことができ、研修後の満足度も高評であった。 ICT機器の効果的な活用により、会議等のペーパーレス化を進めるだけでなく、よりスピーディーかつタイムリーな報告相談ができ、子どもと向き合う時間を確保することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が協力し合う姿が、よく見られるようになり、どの活動でも笑顔があふれている。日頃から、先生方自身が元気で、教職員全員で互いに支え合いながら、児童を指導している成果だと感じ感謝している。 先生方が元気に勤めることができるよう、地域にできることがあれば支えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の対話を大切にし、感謝の気持ちを伝え合い、互いを尊重し、協力し合うことのできる且格小の温かい職場環境の風土を守り続けていく。 教育DXを拡充し、報告・連絡・相談を更に円滑にしていくと共に、人との対話に時間をかけ、誰一人取り残さない職員集団をつくり、誰一人取り残さない学校づくりをする。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策監を軸とした指導体制のもと、全職員がいじめの未然防止に取り組む。早期発見、早期対応に努める。 命を守る訓練やいじめ対応等、様々な危機管理対応マニュアルを随時見直ししていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で問題行動、いじめの未然防止や早期発見早期対応にも努め、いじめ防止94%と高評価。プチ自慢等自己肯定感が高まる自主的活動も定着したからと考える。 地震や火災、不審者対応等、様々な状況を想定した訓練を実施し子どもの安心安全に98%と高評価を得た。地域防災訓練への自主的な参加と防災意識も高められた。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめに対して、早く丁寧に対応してもらっている。子どもの中には、なかなか本当のことを言えない子もいる。引き続き、丁寧な対応を心がけて頂けるとよい。家庭や地域でも気を付けて見ていきたい。 児童みんなが、学校・地域・家庭で安心して生活できるように、学校だけでなく家庭内でも『言霊』を意識して生活ができるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策監を核として、全職員でいじめ指導や子ども達への啓発を行い、地域や家庭、関係機関と連携し、安心安全に生活できるよう努めていく。また、いじめが起きにくい環境づくりに努める。 土曜授業で地域防災訓練に参加し、地域と連携して校区の生命を守ることができるようにしていく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の適切な管理に努める。 安全・安心に生活できるよう、校舎内外、教室環境を整備し、施設設備を有効に活用する。 年間の教育活動を見直し、財務や納入金の計画的かつ適切な運用をする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内の危険箇所及び修繕箇所の早期発見、速やか修繕等に努め、駐車場の照明を防犯面、安全面から考え明るくするなど、子どもたちが安心安全に過ごせるように、設備や環境を整えていることに対して、概ね95%の方から高い評価をえている。 計画的かつ適切に、財務や納入金を運用し、教育環境を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ適切な会計処理がなされ、教育環境も整えられていた。 校舎の周りの外灯がとても明るくなって、防犯上よくなり、地域としても感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の適切な管理が継続的にできるよう、全職員で互いに確認を怠らないようにしていく。 危険箇所及び修繕箇所の早期発見に努め、引き続き、計画的かつ適切な会計処理をしながら、教育環境を整えていく。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/shokaku-e/about/>